

## 左官工事(木部中塗)

11月15日より、軒先及び軒裏等木部の漆喰(しっくい)塗り中塗り工事が始まりました。

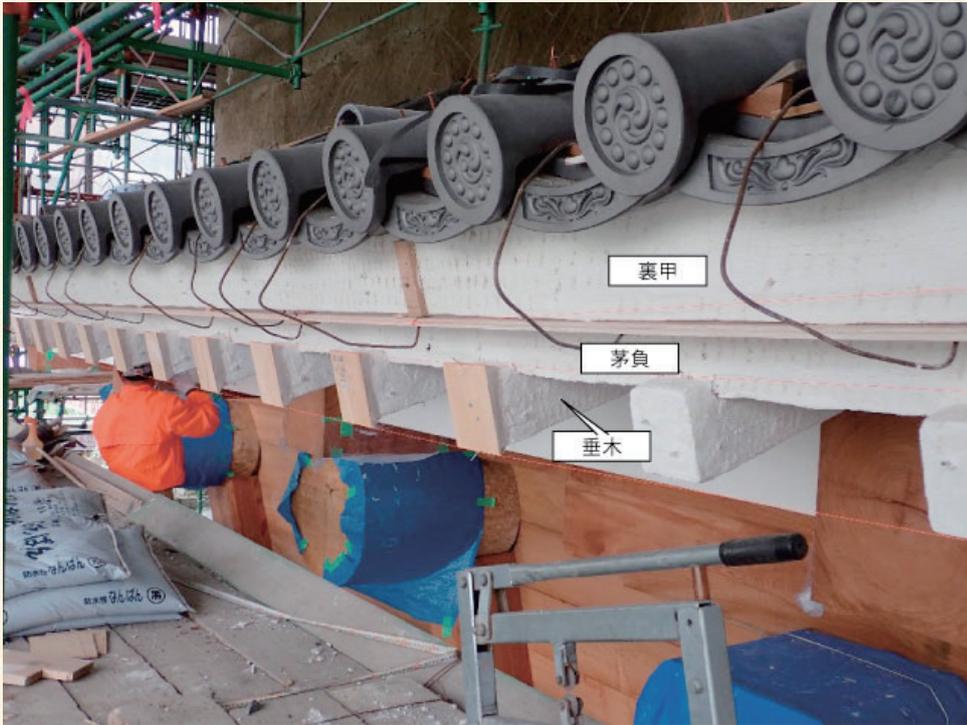
大屋根軒裏の中塗りが終わり、梁の木口(こぐち)に糸を張り、塗り厚を揃えて、砂漆喰(すなじっくい)を塗っていきます。



下層屋根の軒裏は、出桁(でげた)の角に木製の定規を張り、角の線がハッキリと出るように、砂漆喰を塗り重ねていきます。



下層屋根の軒先にも木製の定規を張り、裏甲(うらごう)・茅負(かやおい)・垂木(たるぎ)の角の線を出すように、塗っていきます。



大屋根妻の破風や裏甲には、曲線で作った定規を張り、その曲線に合わせて塗っていきます。

曲線の定規に、罫(こて)をあてながら塗っていきます。



定規を外すと、ハッキリと角が目立ち、きれいな曲線になっています。



2階内部壁の裏返し塗りは、良く乾いてきました。  
もう少しで、次の付け送り作業に入れます。



出庇の出窓格子も、砂漆喰(すなじっくい)で中塗りを行っています。  
軒先と同様、木製の定規をあてて、角を作っていきます。



出庇の屋根も、瓦葺きが進んでいます。  
瓦の葺き方や大きさは、大屋根・下層屋根と同じです。



12月9日より、番所の建方がはじまります。  
お楽しみに!!

